

船舶事故調査報告書

令和6年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和5年6月6日 06時50分ごろ
発生場所	山口県 ^{ほろふ} 防府市野島南南西方沖 周防野島灯台から真方位207° 1.0海里付近 (概位 北緯33° 55.4′ 東経131° 41.2′)
事故の概要	プレジャーボート ^{かすみ} 華純は、主機を中立運転として漂流中、船尾管のグランドパッキンに破損を生じ、機関室が浸水した。
事故調査の経過	令和5年7月24日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 華純、1.9トン YG3-62516（漁船登録番号）、個人所有 第293-35115号（船舶検査済票の番号） ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力93.4kW、回転数毎分2,907、4気筒、ボア104mm、使用燃料軽油、機関製造年月不詳、平成12年10月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船尾管のグランドパッキンに破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、主機を中立運転として釣りを行いながら漂流中、突然、主機が停止した。 船長は、機関室を確認したところ、浸水していることを認めたが、浸水している原因が分からなかったため、自力で航行することは危険と判断し、携帯電話で118番通報を行った。 本船は、船長が手配した船舶整備業者の船舶により防府市のマリナー ^い にえい航された。 本船は、本事故後、船舶整備業者による調査で、船尾管のグランドパッキンに破損が生じていることが認められ、同破損箇所から海水が漏 ^い えいしていたことが判明した。 船舶整備業者の担当者は、グランドパッキンの状態から判断して経年劣化により破損が生じたものと推測した。 本船の船尾管は、グランドパッキン式（パッキン箱を設け、その内部に封水用のパッキンを配列し、パッキン押えで締め付ける構造）であった。 船長は、平成24年5月ごろに本船を中古で購入して以降、船尾管

	<p>に不具合を生じていなかったため、船尾管からの水漏れの確認や船尾管のグランドパッキンの交換を行っていなかった。</p> <p>船長は、本事故当日の発航前点検の際に、ビルジの量や機関室の状態等に異常がないことを確認していたが、ふだんよりもビルジの量が多かったと本事故後に思った。</p> <p>本船の機関室には、ビルジ高位警報装置は設置されていなかった。</p> <p>日本小型船舶検査機構発行の「メンテナンスガイド～安全につながる身近な「点検・整備」 船内機船・船外機船」には、ビルジ及び船尾管の発航前点検等の注意事項として、概略次の記載がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ビルジの量がふだんよりも増加していないか確認すること。 (2) ビルジの量の増加原因は、船尾管などの損傷個所からの海水の浸入が考えられる。 (3) 航行中に船尾管からの水漏れが徐々に増えていないか確認すること。また、停泊中に船尾管からの水漏れがないか確認すること。 (4) 船尾管からの海水の漏れが徐々に増加してきた場合、調整ナットで調整を行い、調整ができなくなったらパッキン類を交換すること。
<p>分析</p>	<p>本船は、10年以上船尾管からの水漏れの確認や船尾管のグランドパッキンの交換が行われていない状況下、主機を中立運転として漂泊中、船尾管のグランドパッキンが経年劣化により破損を生じたことから、船尾管から海水が漏れ出し、機関室に浸水したものと考えられる。</p> <p>船長は、船尾管に不具合を生じていなかったことから、10年以上船尾管からの水漏れの確認や船尾管のグランドパッキンの交換を行っていなかったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、10年以上船尾管からの水漏れの確認や船尾管のグランドパッキンの交換が行われていない状況下、主機を中立運転として漂泊中、船尾管のグランドパッキンが経年劣化により破損を生じたため、船尾管から海水が漏れ出し、機関室に浸水したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型船舶の船長は、発航前や航行中に船尾管からの水漏れが増えていないかの確認を行い、調整ナットで調整を行っても水漏れが徐々に増えている場合は、機関整備業者に依頼するなどしてグランドパッキンを交換すること。